

新庁舎の役割・コンセプトの決定および 第3回市民ワークショップを開催しました！

第2回市民ワークショップまでのご意見を踏まえ、市民全体の傾向を把握するため、1,500人を対象とした市民アンケートを行いました。今回は、ワークショップ・1,500人市民アンケートを踏まえ、新庁舎の役割・コンセプトを決定しましたのでお知らせいたします。

また、令和5年12月に「新庁舎の機能」「新庁舎の複数候補地案」をテーマに第3回市民ワークショップを開催しました。今後は、「新庁舎の機能決定」「複数候補地の決定」に向け、4,000人を対象とした市民アンケートを行う予定です。

美濃加茂市

みんなの新庁舎
かわらばん vol.3

新庁舎の役割・
コンセプトの決定
第3回市民
ワークショップ

新庁舎の役割・コンセプトに係る市民アンケート（対象1,500人）概要

美濃加茂市在住の満15歳以上のうち1,500人を対象とした市民アンケートを、令和5年11月に実施し、607人の市民の皆様にご回答いただきました。（回答率40.5%）

アンケートでは、市民ワークショップの結果を踏まえ、新庁舎の役割・コンセプト等について、市民全体の傾向を把握しました。

新庁舎の役割

Q. 新庁舎の役割として、重要と思う項目の番号に○をつけてください。 ※回答率20%以上の項目を記載

| | | |
|----|---------------------------------------|-------|
| 1位 | 子どもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる | 27.8% |
| 2位 | 平日に働く人も頼りやすい | 26.4% |
| 3位 | 申請や相談がワンストップで対応でき、わかりやすい窓口対応 | 25.4% |
| 4位 | 駐車場が広く、車で来庁しやすい | 24.4% |
| 5位 | 災害時の拠点として、緊急時の対応ができる | 24.2% |
| 6位 | 新庁舎に行かなくても、申請等の手続きがオンラインでできる | 21.4% |

新庁舎のコンセプト

Q. コンセプトとは、庁舎を具体的に形づくる上で、基本となる考え方のことです。新庁舎のコンセプトとして、重要と思うキーワードに○をつけて下さい。

※回答率30%以上の項目を記載

| | | |
|----|-----------------------------|-------|
| 1位 | いつでもだれでも相談できる 頼りになる新庁舎 | 47.1% |
| 2位 | 市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎 | 42.7% |
| 3位 | 新しい時代に対応できる 未来を見据えた新庁舎 | 39.4% |
| 4位 | みんなが使いやすい心と身体の バリアフリー新庁舎 | 30.1% |

新庁舎の役割・コンセプトの決定

第2回市民ワークショップのご意見や1,500人市民アンケートの結果や市職員へのヒアリングをもとに、新庁舎の役割・コンセプトを決定しました。市民のみなさんが安心して頼ることができ、日々変化する未来を見据えた庁舎となるよう、この役割・コンセプトをもとに、今後は新庁舎整備事業を進めていきます。

Concept
新庁舎のコンセプト

市民の **安心** な暮らしを守る



未来 を見据えた新庁舎



8つ

の
役割

安心

- 誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに提供される
- 子どもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる
- 災害時の拠点として、緊急時の対応ができる
- 業務効率の向上につながる職場環境の充実



未来

- 環境の変化に対応できる庁舎
- 平日に働く人も頼りやすい
- 申請等の手続きがオンラインでできる
- 行政機能をできる限り集中させた建設費を抑えた庁舎



STEP4 「新庁舎の機能」 概要

第3回市民ワークショップでは、STEP2で出された主な「新庁舎の役割」に対する「新庁舎の機能」を、例をもとにご意見を出していただきました。

全体の傾向として、施設や設備のハードとしての機能だけではなく、職員同士や自治体同士の連携や市民同士の交流、市民と職員の関わり方に関するご意見が多く出されました。主な意見は以下の通りです。

主な意見

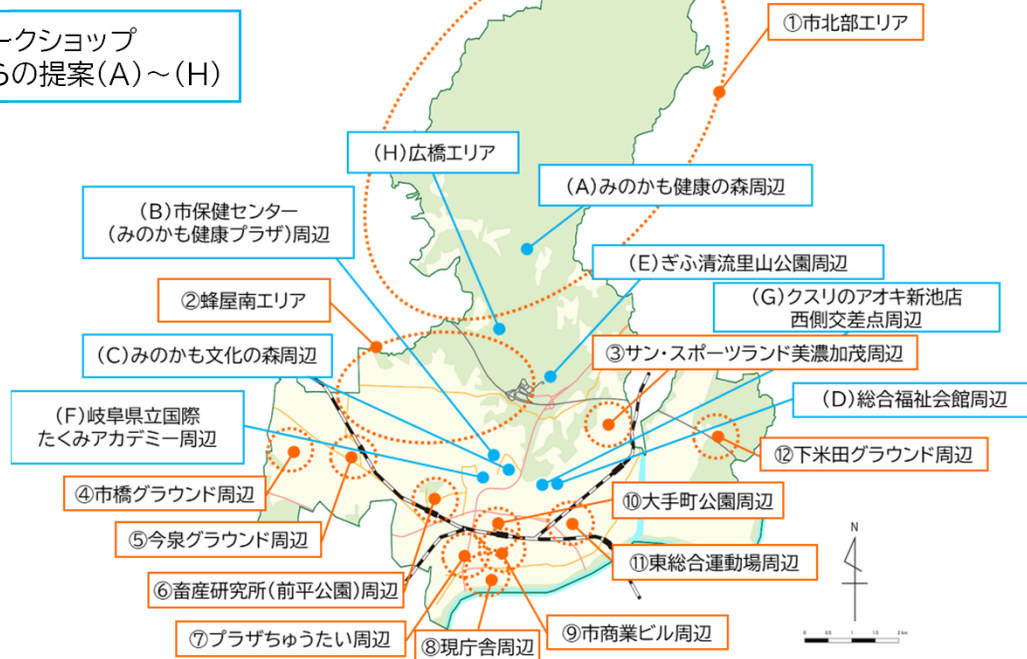
- 「働きやすい環境」に対する機能について
庁内の縦割りをなくし、横のつながりを大切にできることといった意見が出されました。
- 「災害時の拠点」に対する機能について
拠点とするための停電対策や防災機能に加え、連絡所等の市内他拠点や周辺自治体との連携を図ることという意見が出されました。
- 「デジタル化」に対する機能について
デジタル化に賛成する一方で、デジタルが苦手な人も困らない仕組みやデジタルに馴染んでいけるような機能を求める意見が出されました。

STEP5 「新庁舎の複数候補地案」 概要

市内全域における立地の条件や**主な市有地周辺のエリア**(オレンジ)をもとに「新庁舎の複数候補地案」を考えていただきました。また、市民の方から**候補地の提案**(水色)をしていただきました。候補地はワークショップや今後予定している市民アンケートの意見を踏まえ、決定する予定です。

市有地を中心とした
候補地案①～⑫

ワークショップ
参加者からの提案(A)～(H)



第3回市民ワークショップまとめ

第3回市民ワークショップのご意見をまとめると、以下の通りです。

- ・「新庁舎の機能」については、全体の傾向として、施設や設備のハードとしての機能だけではなく、職員同士や自治体同士の連携や市民同士の交流、市民と職員の関わり方に関するご意見が多く出されました。
- ・「新庁舎の複数候補地案」には、「災害に対する安心感」「市内全域や人口集中地区からの利便性」「土地の取得費や建設費」の観点からのご意見が多く出されました。利便性については公共交通機関だけでなく、自家用車での来庁を想定し、駐車場用地が周辺にあるかについても議論がされました。
- ・市民からの提案として、施設の相互利用や利用者の利便性向上のため、既存施設(みのかも健康の森、市保健センター(みのかも健康プラザ)、みのかも文化の森、総合福祉会館、ぎふ清流里山公園、岐阜県立国際たくみアカデミー)周辺などが提案されました。

今後は「新庁舎の機能決定」「複数候補地の決定」に向け、市民4,000人を対象とした市民アンケートを行い、市民全体の傾向を把握します。